



Shadow

of


a

Smile

Diluc x Kaeya:


成人指定

FOR ADULT ONLY



はじめまして


義兄さん：




おとぎばなしの星空が
降ってきたのだと思った

：男の子
だよな


君に笑って欲しくて
君に頼って欲しくて
君に見合う兄になりたくて
僕はひたすら努力した



騎士団に入団して
賞賛を受ける度に君の気を惹く事で
それは陶酔感に変わり



それが内に抑えることも
ままならない程の
恋心だったと気がついた



あの時、
僕らは確実に互いに
惹かれ求め合っていた

あの日までは

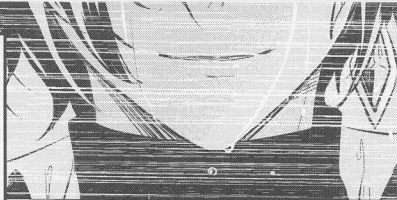
それは
刻印の様に
脳裏に焼き付いて
消えやしない

：最初から

あの日、
僕の剥き出しの炎を
前に君は…

全部、嘘
だった…のか？

ガイア



君は――

世界でいちばん
美しく微笑んだ



……まったく、
顔色ひとつ変えやしねえ

ちっ……

チヤ



どこの手先だ！



⋮



ノーコメント

待て

馬鹿にしゃがって：
痛めつけてやろうか！



おい！
さっさと吐け！

やり方が
甘いんじゃないか？





やっとな
お出ましかよ…



何しに来たのかと
聞いているんだ



ガイア



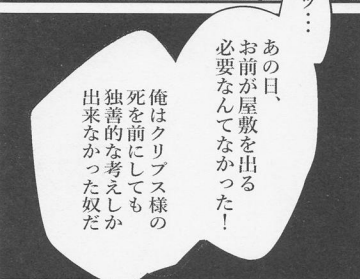


何故そんな
顔をする？



...

そうだな・



ツ...

あの日、
お前が屋敷を出る
必要なってなかった！

俺はクリプス様の
死の前にしても
独善的な考えしか
出来なかった奴だ



モンドを出て
何処に行こうと
していたんだ？



俺がモンドを去るべき
だったんだ...!!
そのために打ち明けたのに

お前は全部
ぶち壊したんだ！

それで君は



誰が書いたか
面白い書物を見つけた

王の血族に稀にでる
『目』……
その目に映るもの全て
亡国に通じる



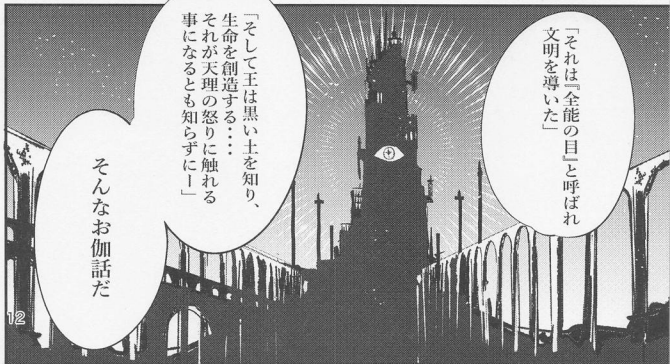
！
『カーンルリアの目』



「それは『全能の目』と呼ばれ
文明を導いた」

「そして王は黒い土を知り、
生命を創造する……
それが天理の怒りに触れる
事になるとも知らずに」

そんなお伽話だ



くっくっく…

…

とんだ作り話だ

だったらその「目を」
持つ俺自身が
裏切る為に存在する
って事になるな

滅んでも尚その呪縛から
逃れる事のできない
哀れな奴って事か？

もし、コイツを
外さない理由が
そうだとしたら

これが選択すら与えられ
なかった俺が出来る
唯一の抵抗だからだ

帰る場所なんて
最初からないさ…

俺はあの日：
お前にこの嘘ごと
焼き尽くして
欲しかったんだ



君、まさか
わざと捕まったのか？



…義兄さん



逢う為だと言ったら
笑うか：デイルック



ディルック:

これっ
外してくれよ:

だめだ
君は信用できない

君らしく
...ないな

ああ...

俺らしく...
ないっ...

あ...





お前…

この状況に
コーフンして
るだろう…

ヘンタイめ



そうだな



しまった…



だったら君も
楽しめばいい…

ガイア

君をもう一度
僕のものにする

コイツの変なズイッチ
押しちまった：

ひあッ

暴れるな
慣らしてやるから

ヤッ
あ
あ
ッ

!!

ア
ッ
ッ
ッ

好き勝手しやがって：
ならもういっそ

あ、

ヤ！

とこっ

狭いな：

使って
なかったのか？

俺のペースに
してやる：

お前こそ：っこんな
ガツつきやがって
そんなに俺の躰が
恋しかったかよ？

そうだな

…
なら、こんな
焦らしないで
今すぐくれよ…
ディルック…

は…
後悔しても
知らないからな

は！…

…

い……いきなり奥まで
突っ込むヤツがあるか……!

君が急かすからだろう!
僕だって
余裕がないんだ

っ……久々
なんだぞ!

動くよ……

……っ

ほ……

ほ……

あ……

ほ……

お……

び……

くら……

……

……



ひあッ

クッ



…気遣って
くれてる…？

ふかつ…い

奥…っ

はっ
はっ
はっ

や

はっ
はっ
はっ



ガイア…ッ

あッ



そう

はっ…

もつと僕に
腕を回して



はっ
はっ

はっ
はっ
はっ

あッ





おま、もつげんかい
：らろお

君こそっ：
ロレッツ回ってないぞ

ゴ

フーッ
フーッ
フーッ

110
77



その傷





俺の荷物
開けてみるよ



君が探し出して
くれたのか…

お前が大切にしている
クリプス様の形見のソレは
多分、やめたほうがいい…

お前には燃え盛る
炎の方が似合っている

とっくに失ったと
思っていたのに…

ソイツでその
執行官に仕返しても
してやるんだな

これを僕に
届けるために……？

ディルツク

愛してる

まさか

他は信じなくていい

だが

これだけは
本当だ……

本当なんだ：



まだ受け取れないと
小さなブライドが
邪魔をした



それでも
君の言葉は限りなく
冷めきっていた
僕の心に火を灯した

風の匂い：



僕を動かしてくれたのは

君の嘘の中にある
たった一つの真実と

あの微笑



「Shadow of a Smile」

2022/5/2 NO.02

サークル&バッキングガム

森毛リイ

Twitter@oomoriyakisobaa

6月以降ID変更します

↓

@BUCKING0810

pixivID:66040263

印刷所様&サングループ

感想頂けるのとめちゃくちゃ嬉しいです！



Reproduction is prohibited. Unauthorized reproduction prohibited.

Note: Please be sure that this book is for individual use and must not be delivered to official related persons.

禁止私自轉載、加工

Diluc x Kaeya

Shadow of a Smile

2022,05,04,W02

Buckingham

